

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会

TEL:097-545-6594

FAX:097-554-4049

第117号

令和2年10月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和2年10月分の交付金概算払単価が公表されましたので、概算払いを行います。

肉専用種については、63,729.15円・交雑種については、127,468.4円・

乳用種については、33,969.2円の交付となります。

なお、肉専用種につきましては、生産者積立金が払底したため、国庫(3/4)の単価を表示しています。

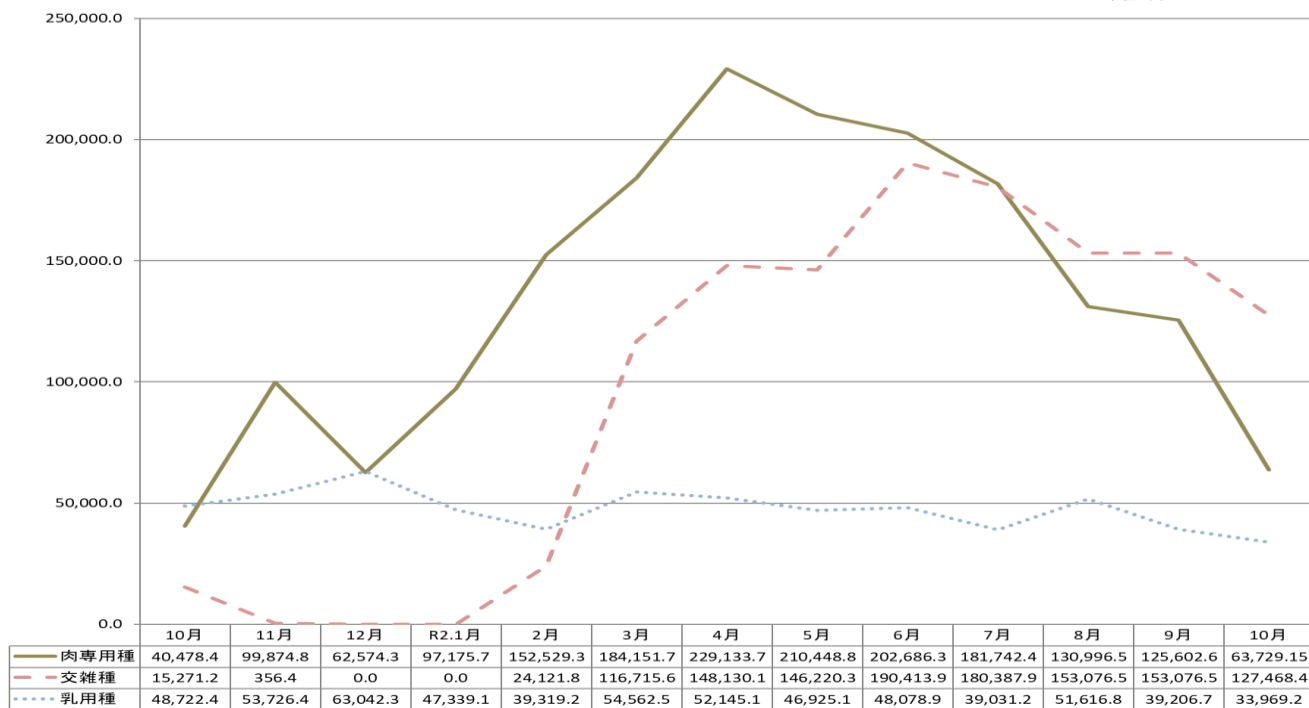
詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和2年10月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

トピックス
●令和2年10月分の単価(概算)が公表されました。

●10月分の交付金交付は、12月24日(木)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oota.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

～凍結手当て活発、品薄感で高値続く

肉食需要は堅調、12月は550円絡みか～

2020年11月の牛枝肉価格は、凍結玉を仕込む動きが活発だったことなどから10月に続き和牛中心に上げ基調で推移した。小売向けの手当てが遅れをとったことも品不足感につながり相場をけん引した。12月も下げ材料は少なく、高値展開が見込まれる。

10月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比213円高の2,665円（前月同月比25円安）、同A4も249円高の2,352円（同28円安）と前月から200円以上も上昇し、同A3は242円高の2,157円（同24円安）と1月以来の2,000円台に回復、同A2は230円高の1,982円（同50円高）と前年実績を上回る高値に。高値の主因は「和牛肉保管在庫支援緊急対策事業」を活用し年末に向けた凍結玉を仕込む動きが活発だったこと。学校給食提供推進事業も底支えた。

一方、交雑種はB4が64円高の1,568円（142円安）、B3が98円安の1,435円（同168円安）、同B2は101円高の1,273円（同202円安）と一段上げとなったが、コロナ対策事業対象外で前年実績を大幅に下回っている。乳去勢B2は前月比29円高の816円（同176円安）。

末端需要は、Go To トラベル・イートキャンペーンが功を奏し、レストランやホテルに客足が戻った。焼肉業態も大きく売り上げを伸ばし、来年に向けた焼肉スペックの凍結回しの動きが散見される。ただ、11月に入ると全国各地で感染者が急速に増加、北海道などでは旅行のキャンセルが散見された。気温や湿度の低下に伴い、再び感染が拡大する恐れもあり動向が注視される。

一方、和牛の輸出量は回復基調にあり、9月は前月実績を大幅に上回った。部位別の内訳をみるとロイン系は依然として前年実績を2割程度も下回っているのに対し、焼肉業態向けのバラ系の輸出量が大きく伸ばした。秋口に想定していた価格を大きく上回る高値展開にパーツ価格は逆ザヤ傾向にあり、「このまま高値を維持できるのか微妙」（卸）との声も聞かれるが、冷凍保管事業ありきでふるさと納税の返礼品や通販ギフトの取り組みが強化されており、年内いっぱい品薄感が解消されないとの見方で、12月は和牛去A5で2,750円～2,800円程度、A4で2,500円、A3で2,300円。交雑種は去勢B3で1,550円～1,600円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌 12月号 抜粋）